

□ トピック □ 衣替えのシーズン、虫食い発覚！

春の陽気や桜、食べ物など随所で春の気配を感じますが、先月頃から右の画像のような虫を屋内で目にされた方もいらっしゃるかもしれません。この虫の名前は「ヒメマルカツオブシムシ」。衣替えシーズンになると話題になる、虫食い容疑の重要参考人(虫?)です。

彼らは姿はなくとも数々の状況証拠を残します。幼虫の脱皮殻、食害痕跡(衣服などにあけられた穴、大型昆虫類の外殻を残して中をスカスカに食べ尽くして残した粒状の糞、屋根裏や床下の小動物の白骨死体、不自然に切れた落下毛髪)などです。繊維害虫としても悪名高い本種は、ほかの人家に住み着くカツオブシムシ類と違い、動物質だけではなく、植物質のものも好みます。このため衣類では、カシミアやウール、絹だけでなく、綿や化学繊維も食害に遭うことがあり、洗濯やクリーニングを行ったとしても、汗や皮脂がわずかに残っていれば化学繊維でも齧って穴をあけてしまいます。

彼らは隠れるのが得意なので、小さなテントウムシのように見える成虫、触ると刺されてしまいそうなイモムシ状の幼虫(実際は刺しません)などの現行犯だけを捕えても駆除は困難で、上記のような証拠を残して彼らはどこかに潜伏しているかもしれません。衣替えの時期にがっかりしないためにも、証拠をもとに、次の衣替えまでにしっかり追い詰めておきましょう。



□ お知らせ □ ヒメマルカツオブシムシ用フェロモントラップ



ヒメマルカツオブシムシ用
フェロモントラップ
「ハイレシス」

さまざまな虫の調査を行うにあたり、その場に虫がいることで確認を行うことや、すべての箇所を目視のみで隅々まで調査を行うことはあまり現実的ではありません。そのため、調査は対象となる虫の生態を利用してトラッピングすることが一般的です。

例えばトピックでご紹介したヒメマルカツオブシムシを調査したければ、ライトトラップで成虫を、床置き型粘着トラップで幼虫を捕獲することが標準的な手法です。さらに、成虫に着目するならば、本種の生態から、野外での成虫の発生時期がこの時期(3~6月)のみであるため、これらを効率的に捕えることで近辺の状況を判断することが重要です。成虫はライトトラップに集まりやすい性質を持っていますが、フェロモントラップのご利用もご検討ください。電源いらずで、簡単に本種のみが捕獲できるため、だれでもどこでも使えます。

乾燥食品や原料を扱われる工場だけでなく、被服工場、更衣室、事務所、屋内通路、倉庫、美術館、博物館、一般家庭など、本種はどこにでも潜んでいる可能性があります。成虫はこの時期しか出てこないため、成虫対策を行うことができるのは今しかありません。気になったら一度調査を行ってみてはいかがでしょうか？

□ 豆知識 □ カツオブシムシ類を利用して

カツオブシムシ類は乾燥食品や衣類の害虫に挙げられるものを含み、乾燥や飢餓に強いので、一度定着されてしまうとなかなか駆除が進まないため、嫌われ者としてよく目にする仲間ですが、社会の中では人知れず役に立っているものもいます。

例えば、博物館などで見られる骨格標本の作製に利用されていることがあります。動物の骨を取り出すには、周りの毛、皮、筋肉、脂肪などを綺麗に除去する必要があり、小さな生き物などだとそれらがうまく取り出せないため、いったん乾燥させてカツオブシムシ類の幼虫に手伝ってもらいます。幼虫はせっせといろいろなものを食べますが、硬い骨や腱などは食べるできません。このため、標本を乾燥させる前に取らせたポーズのままの形で骨格標本を作ることができます。

さらに、「法医昆虫学」という日本では聞きなれない分野では、特にアメリカでは事件の被害者、あるいは容疑者周辺に生息するカツオブシムシ類を含む様々な昆虫が、被害者の死後経過時間や関係者の行動範囲などの推定に用いられ、事件解決のカギや証拠になることがあります。

害虫と益虫は紙一重、というよりも、その性質を利用してうまく利用されているものも少なくありません。あなたのおうちにいる昆虫も、ひょっとしたらなにかの役に立っているのかもしれないね。



ヒメマルカツオブシムシに
煮干しを摂食させてみると
上:摂食前
中:摂食後
下:摂食後



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山
関東(市川)